

平成29年度主な事業

復旧・復興活動拠点として「防災広場」整備へ

安全・安心

○高機能消防指令システム更新事業

新規 2億5,895万円

消防指令システムに新システムを導入することにより、操作のオートメーション化による指令操作の時間短縮、出動車両運用管理装置による詳細な情報の共有により、現場到着までの時間短縮を図ります。



○木造住宅耐震化促進事業(耐震シェルター設置補助拡充)

拡充 2,875万円

地震発生の際、倒壊等の危険性の高い木造住宅の耐震性の向上等を図り、地震に強いまちづくりを推進します。平成29年度は、高齢者や障がい者などが居住している場合に、耐震シェルター設置費用の一部を新たに補助します。



※耐震シェルターとは、住宅が地震によって倒壊した場合でも、安全な空間を確保することができる堅固な構造物で、住宅の1階(主に寝室となる部屋)に設置するもの。

○ゾーン30設定地区内路面標示等設置事業

拡充 983万円

薪及び健康村地内において、新たに「ゾーン30」を設定するにあたって必要となる路面標示、啓発看板等を設置し、子どもや高齢者を交通事故から守る安全対策を推進します。



○耐震性貯水槽整備事業

拡充 3,371万円

地震等で水道が寸断された場合でも消火活動が円滑に実施できるよう、耐震性の防火水槽を整備します。

平成29年度は、新田辺西公園で設置工事を行うと共に、多々羅公民館建設予定地への設置の測量設計を行います。



○防災拠点等整備事業

新規 4億5,000万円

地震などの大災害に素早く対応できる防災拠点として、緊急輸送道路に指定されている京奈和自動車道田辺西インター近接地において、防災広場を整備します。

(債務負担行為:平成29年度～平成33年度 4億5,000万円)



○高規格救急自動車更新事業

新規 3,281万円

常備消防力の充実強化を図るため、車両更新計画に基づき、北部分署の高規格救急自動車を更新します。



緑

○水辺の散策路整備事業

拡充 2,850万円

順次整備を進めている水辺の散策路について、普賢寺川ルートの一部のカラー塗装や、市域全域で路面標示等を設置すること等により、市民にとって一層親しみやすい散策路となるよう環境整備を行います。



○可燃ごみ広域処理施設整備事業

新規 4,200万円

甘南備園のごみ焼却施設建替のため、敷地造成にかかる実施設計等を行います。



【可燃ごみ広域処理施設イメージ図】※今後の事業進捗状況により変更する場合があります。

○遊歩道整備事業(山手東上西野線)

新規 8,900万円

松井山手地区と北部住民センターを結ぶ自転車歩行者道の整備を行います。

(債務負担行為:平成29年度～平成32年度5,500万円)

○公園施設長寿命化事業(田辺公園、中央体育館)

継続 1億1,010万円

公園施設長寿命化の一環として、田辺中央体育館及び公園プール施設の設備等の改修を行います。



○触媒フィルター(バグフィルター)導入事業

新規 6,480万円

ダイオキシンの削減、使用薬品量の削減、冷却水量の削減等の観点から、「触媒フィルター」を導入することにより、環境汚染対策、ランニングコストの削減を図ります。

京田辺市平成29年度予算特集

未来の創造に向けた積極型予算を編成 ～防災・子育てに重点～

平成29年度当初予算 会計別歳出入内訳

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減 額	増減率 (%)
一 般 会 計	241億3,000万円	239億3,000万円	2億円	0.8
特 別 会 計	151億5,820万円	150億4,660万円	1億1,160万円	0.7
内 容				
休日応急診療所特別会計	2,310万円	2,310万円	-	0.0
松井財産区特別会計	1,050万円	8,600万円	△7,550万円	△87.8
国民健康保険特別会計	76億8,640万円	76億5,310万円	3,330万円	0.4
介護保険特別会計	43億9,960万円	43億8,660万円	1,300万円	0.3
後期高齢者医療特別会計	7億9,270万円	7億1,900万円	7,370万円	10.3
公共下水道事業特別会計	21億7,100万円	21億1,230万円	5,870万円	2.8
農業集落排水事業特別会計	7,490万円	6,650万円	840万円	12.6
水道事業会計	27億1,300万円	26億8,620万円	1,510万円	0.6
合 計	419億8,950万円	416億6,280万円	3億2,670万円	0.8

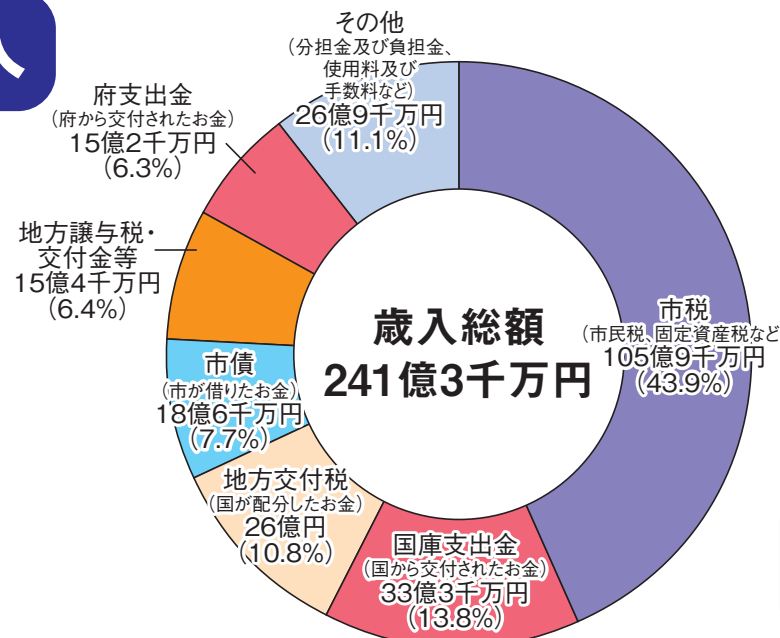
平成29年度一般会計当初予算は、本市が目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」実現のため、後期基本計画「まちづくりプラン」に基づき、まちづくりの羅針盤である第3次総合計画の総仕上げに向けて、各分野において重点プロジェクトの早期実現のための積極型予算を編成したことから、一般会計当初予算総額は過去最大となる241億3,000万円となりました。

平成29年度予算においては、「まちづくりプラン」における「安全・安心」「緑」「健康」「文化・教育」「田園都市」の5つのキーワードに沿った事業を中心に予算を配分しました。

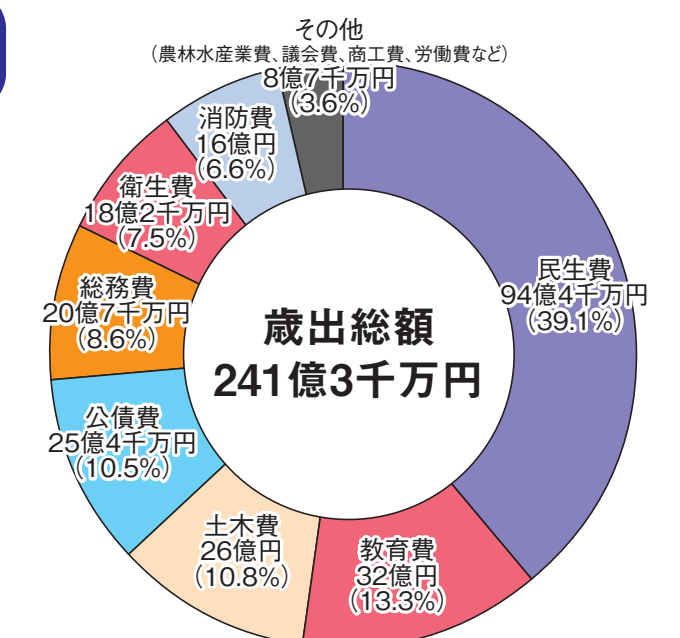
さらにこれらの施策を進めるために、経常経費が増大する厳しい財政状況の中、自主財源の確保、事務事業の効率化や適正化等の取り組みを予算に反映しました。

また、平成29年4月1日に、本市は市制20周年を迎えます。積み重ねた歴史、先人たちの業績に思いをはせながら、さらなる飛躍の第一歩とするため、「市制20周年記念式典」や「京田辺市展」等の記念事業を開催するとともに、市民を主体とした記念事業を後押しする「市民提案事業」「区・自治会提案事業」への支援などの予算を盛り込みました。

歳入



歳出



市税 市民税、固定資産税など、105億9千万円を計上しました。

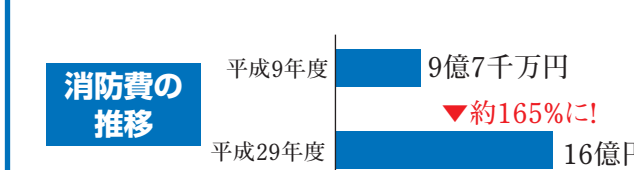
国庫支出金 児童手当負担金や道路整備に対する補助金など、33億3千万円を計上しました。

民生費 生活保護費や児童手当費など、94億4千万円を計上しました。

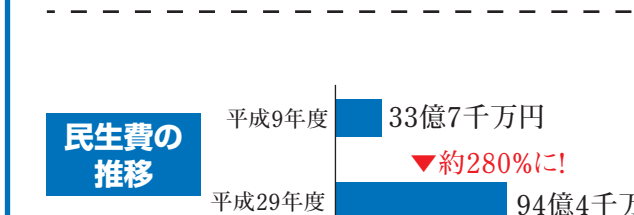
教育費 三山木小学校増築事業や小学校・中学校・幼稚園運営費など、32億円計上しました。

◆市制開始からの20年を振り返る ～「安全・安心」「子ども子育て」の充実～

京田辺市は、平成29年4月1日に市制開始から20年を迎えました。この間本市は、特に「だれもが安全で安心できるまちづくり」「誰にもやさしい健やかで幸せなまちづくり」を推進し、ソフト、ハード両面で様々な整備、拡充を行ってきました。20年前の予算との比較や主な拡充内容は下記のとおりです。



【20年間で充実してきたこと】
・はしご車などの消防車両の購入など、常備消防力の強化
・消防団積載車や小型動力ポンプの整備など、消防団の強化
・洪水ハザードマップ、地域土砂災害避難マップの作成や自主防災組織設置補助金の新設など、防災体制の強化



【20年間で充実してきたこと】
・河原保育所、三山木保育所の建替など(4月1日時点での園児数は、平成9年度の262人から、平成28年度には665人に)
・松井ヶ丘保育園やみづく保育園の新築工事支援など(4月1日時点での園児数は、平成9年度の220人から、平成28年度には588人に)
・病児病後児保育事業を市内2箇所で展開、子育て支援センターを市内3箇所で運営など

